



にかほ 議会だより

5.1

2020
vol.62



コロナ禍の中でも季節は移ろう
勢至公園から望む鳥海山と桜

3月定例会

定例会	2～17
概要	2
予算修正の詳細	4・5
会派代表質問	8
一般質問	11
委員会報告	15
特集 令和2年度予算ここに注目！	18
特集 にかほ市議会の挑戦	20
編集後記ほか	22



令和2年 3月定例会

2月20日～3月18日

3月定例会では、議案35件が審議され、このうち34件が原案のとおり承認・同意・可決、1件が修正可決となりました。（修正関連はP4～5に詳細を掲載）

陳情2件はいずれも継続審査、議提2件は原案のとおり可決されました。

主な議案内容

にかほ市国民健康保険財政調整基金 条例の一部改正

国民健康保険法等の一部改正及び不測事態に備え、基金を処分できる範囲を広げるための一部改正。「国保事業納付金への不足額の財源」「その他やむを得ない理由により、国保事業の費用が不足する財源」に充当できるようにする。

にかほ市中小企業振興資金融資 あっせんに関する条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の影響拡大を受け、従来の通常枠2,000万円に加え、新たに特別枠で1,000万円の融資を設け、緊急に支援が必要な企業への融資をあっせんするための条例改正。

にかほの景観を守り育む条例制定

「自然と暮らしが調和する持続可能な美しい都市（まち）にかほ」の実現に向けた景観形成や景観誘導を計画的に進める。景観形成に関する施策、景観審議会などについて定めている。

組織再編に伴う関係条例の整備に 関する条例制定

組織再編の主な内容

- ・ガス事業譲渡に伴い、水道事業を農林水産建設部に所管替えし、建設課所管の公共下水道事業及び農業集落排水事業と統合して上下水道課とする。
- ・観光推進を図るため、スポーツ振興課と象潟・金浦B&G海洋センターを教育委員会から市長部局商工観光部に所管替える。

令和2年度各会計予算

一般会計予算は、原案147.51億円を約147.39億円に修正可決（一部事業関連を減額）。第2期にかほ市まち・ひと・しごと創生総合戦略の主要施策を積極的に推進する予算が計上された。P18～19 特集ページで各議員が注目する予算を掲載。

議案・賛否一覧

議案35件（第1～35号）、陳情2件（第1～2号）、議提2件（第1～2号）

○は賛成 ●は反対（※議長は表決しない）

番号	件名	結果	議席番号																	
			1 齋藤光春	2 佐々木孝二	3 小川正文	4 伊東温子	5 齋藤聡	6 齋藤進	7 森鉄也	8 渋谷正敏	9 佐藤直哉	10 宮崎信一	11 佐藤治一	12 佐々木正勝	13 佐々木春男	14 佐々木敏春	15 伊藤竹文	16 佐藤文昭	17 菊地衛	18 佐藤元※
専決処分の報告・承認																				
1	令和元年度にかほ市一般会計補正予算（第9号）の専決処分の報告及びその承認（専決第1号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
人事案件																				
2	人権擁護委員候補者の推薦	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
条例の制定・一部改正																				
3	組織再編に伴う関係条例の整備に関する条例制定	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
4	にかほ市監査委員条例の一部を改正する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
5	にかほ市行政不服審査関係手数料条例の一部を改正する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
6	にかほ市国民健康保険財政調整基金条例の一部を改正する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
7	にかほ市特別導入事業基金条例を廃止する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
8	にかほ市立学校給食共同調理場条例の一部を改正する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
9	にかほ市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
10	にかほ市農業関連施設条例の一部を改正する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
11	にかほ市道路占用料徴収条例及びにかほ市行政財産使用料徴収条例の一部を改正する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
12	にかほの景観を守り育む条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
13	ガス事業譲渡に伴う関係条例の整備に関する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
35	にかほ市中小企業振興資金融資あっせんに関する条例の一部を改正する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
単行議案																				
14	市道路線の廃止 塚田・屋敷田線の一部	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
15	市道路線の廃止 藤掛2号線	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
16	市有財産の無償譲渡	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
17	令和元年度にかほ市ガス事業会計資本金の額の減少	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
18	にかほ市公共下水道事業特別会計への繰入れ	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
19	にかほ市農業集落排水事業特別会計への繰入れ	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和元年度補正予算																				
20	一般会計(第10号)	884,069千円増額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
21	国民健康保険事業特別会計事業勘定(第3号)	91,983千円増額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
22	国民健康保険事業特別会計施設勘定(第3号)	235千円増額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
23	公共下水道事業特別会計(第4号)	38,913千円減額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
24	農業集落排水事業特別会計(第4号)	1,071千円減額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
25	ガス事業会計(第5号)	収益的収入500,000千円増額 資本的収入11,859千円減額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
26	水道事業会計(第4号)	資本的収入6,326千円増額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和2年度予算																				
27	一般会計（修正案）	11,721千円減額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	一般会計（修正部分を除く原案）	14,739,279千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
28	国民健康保険事業特別会計事業勘定	2,637,514千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
29	国民健康保険事業特別会計施設勘定	73,162千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
30	後期高齢者医療特別会計	329,304千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
31	公共下水道事業特別会計	1,276,491千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
32	農業集落排水事業特別会計	436,764千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
33	ガス事業清算特別会計	2,021,746千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
34	水道事業会計	収益的収入618,457千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
陳情																				
1	最低賃金の改善と全国一律制にすることを求める陳情	継続審査																		
2	公立学校に「1年単位の变形労働時間制」を導入する条例制定に反対する陳情	継続審査																		
議提																				
1	にかほ市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
2	市長の専決処分事項の指定についての一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

お詫びと訂正 前号(第61号)5ページの賛否一覧表中、議提第11～16号の議決結果が「採択」となっておりましたが、正しくは「可決」でした。お詫びして訂正いたします。

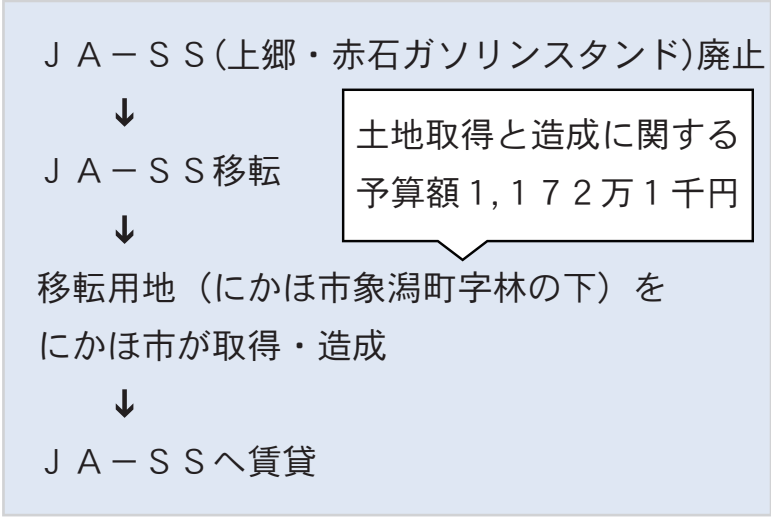
定例会概要
質疑・討論
会派代表質問
一般質問
委員会報告
特集

令和2年度 一般会計予算を修正して可決

議案の修正

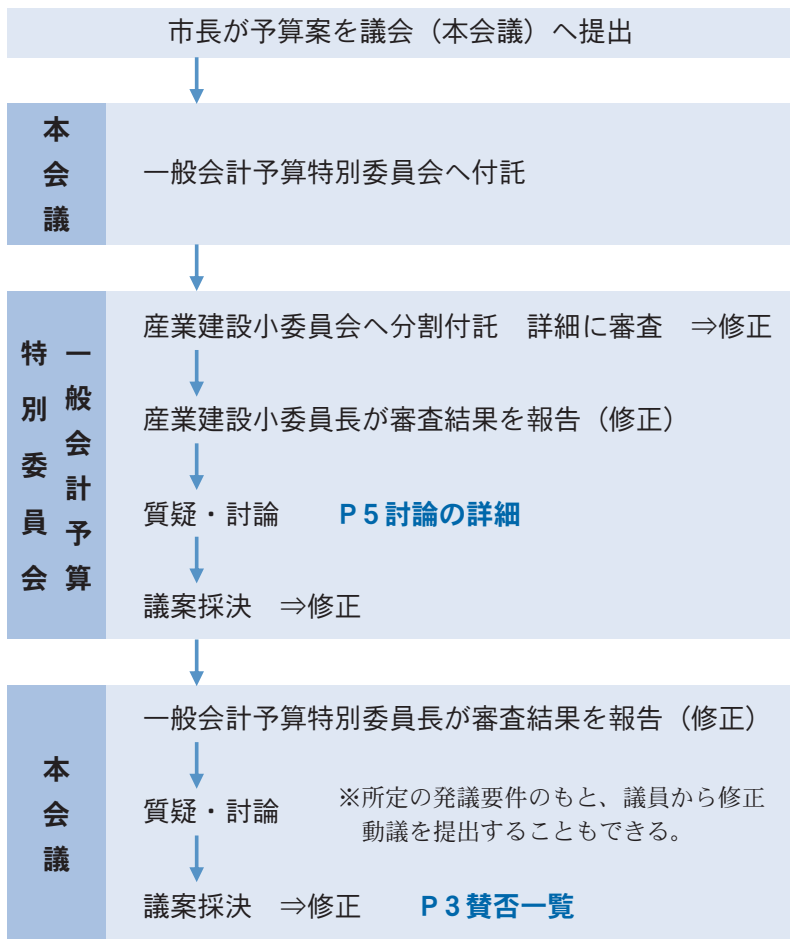
市長から議会に提出された議案は本会議、常任委員会等で審査され、議決されます。議会は、可決、否決するだけでなく修正することができます。

- 修正内容**
- 令和2年度一般会計予算案から、JA上郷・赤石ガソリンスタンドの移転に関する予算を減額する。
 - 土地登記委託料 30万円
 - 土地造成工事設計委託料
 - 公有財産購入費 819万8千円
 - 322万3千円



修正減額した事業概要

予算審査の流れ



提案理由（修正した理由）

当該予算は上郷地区の住民生活と密接な案件でありながら、市の実施計画にも記載されておりながら、去る2月13日開催の説明会でも、また2月20日本会議での当初予算説明にもなかった。付託された産業建設常任委員会での現場踏査で初めて説明があったが、予算特別産業建設小委員会の審査の中で納得できる説明も得られなかった。

小委員会審査の過程では、場所の選定について、上郷地区自治会長から要望書が出されているが、果たしてその土地が上郷地区の住民の方々の納得のいく場所なのか、上郷地内に残すべく検討の余地はないのか、また、費用の面からも他に合理的な場所がないのか等の疑問も多く、上郷ガソリンスタンド閉鎖の予定時期まではまだ時間もあることから、再度検討が必要である。

一般会計予算特別委員会

一般会計の決算・予算は本会議から特別委員会へ付託され、さらに小委員会へ分割付託されている。

予算特別委員会では各小委員長の報告に対して質疑する形で審査される。

議案第27号 令和2年度にかほ市一般会計予算

小委員長質疑 齋藤光春

【質問】旧上郷小学校舎の活用に関して、形が見えにくい。3年間総額で1億5,000万円ほどの経費をかける。2、3年目、国・県の交付金がなくとも続ける覚悟なのか。地域の方たちと活性化も含めた事業として話し合いがされたのか。

【答弁】(財源に関する)質問は小委員会ではなかった。

ワークショップには地域の方も来ていたということだった。

【質問】平沢小学児童保育移転の件、空き教室を活用するような検討はあったのか。

【答弁】学校校舎だと管理が困難ということだった。

議案第27号 令和2年度にかほ市一般会計予算に対する修正案

※議決結果は可決

賛成討論 佐々木正勝

上郷では「現状地を希望することは変わらない」の強い思いがあることを受けとめる。自治体がいーダーシップをとり、上郷地内に残すべき方策及び、市有地活用の検討も行われていないことを指摘し、関連予算を減額する修正案に賛成。

賛成討論 佐藤 文昭

J Aとの協議に入りながら、なぜ議会に対して、当初予算計上までに説明がなかったのか。理解に苦しむ。委員会でも納得できる説明には至っていない。

建設土地、費用、ほか合理的な場所がないか等疑問も多くある。再度検討が必要であると判断し、当該予算を減額する修正案に賛成する。

反対討論 齋藤 進

現J A—S Sの老朽化による施設継続に伴う対策予算で、地域活性と持

続可能な地域の構築を進めていく上で重要な事柄。ここで、この事業が廃案になり、J Aとの関わりがなくなるようなことは、上郷地域における新たなコミュニティ生活圏の構想が大きく揺らぐ結果となり、市全体に与える影響も大であると考えられる。原案賛成、修正案反対。

反対討論 森 鉄也

産業建設小委員会では、委員として修正案に賛成した立場だが、熟慮を重ねた結果、修正案に反対する。

予定される移転先はJ A側の移転候補地の中のもので、上郷地域住民が満足できるものではない。当局も上郷地域内での模索、ほかに合理的な場所はないか、再度J Aと協議を行い、了解を得た上で進めたいとの答弁があった。これを重く受けとめ、地域からの要望も尊重し、修正案に反対する。原案に賛成し付帯意見を提案したい。(※修正可決のため提案されなかった)

議案第27号 令和2年度にかほ市一般会計予算への付帯意見

※議決結果は否決

提出者 佐藤 文昭

1. 仁賀保学童クラブの移転先が津波浸水想定区域であることを示し、再度、保護者への意向調査を実施すること
2. 移転先の最終決定、判断は右記1.の意向調査後とすること
3. 公共施設の個別施設計画を策定中であり、既存の公共施設(学校を含む)を活用できないか検討すること

反対討論 佐々木敏春

保護者から移転場所は学校の近くとの声が挙がっていた経緯もある。高台にある平沢小学校舎は3階で標高18.4メートルが確保できる。海岸線から離れた安全な場所を選ぶべきとの意見も理解できるが、児童の安全確保という観点からの原案の選択は、十分な理解が得られる。

一般会計予算特別委員長
小川 正文

議案番号	議案の名称	審査結果	理由
議案第1号	令和元年度にかほ市一般会計補正予算(第9号)の専決処分の報告及びその承認について(専決第1号)	承認	賛成多数
議案第20号	令和元年度にかほ市一般会計補正予算(第10号)について	可決	全員賛成
議案第27号	令和2年度にかほ市一般会計予算について	修正可決	賛成多数

質疑

●議案第1号

令和元年度にかほ市一般会計補正予算(第9号)の専決処分報告及びその承認

質疑

佐々木 正勝

問 専決処分の判断に至った経緯は。

答 年末の駆け込み期に予想以上の寄附・ふるさと納税があり、関連経費の増額について1月31日付で専決処分した。納税に係る返礼品代及び管理運営ポータルサイト委託料の2月末までの支払い総額が予算残額では不足が生じることが明らかで、3月補正した場合に遅延損害金が発生することから専決処分とした。
議会招集は最短で7日。

●議案第20号

令和元年度にかほ市一般会計補正予算(第10号)

質疑

森 鉄也

問 図書館複合施設検討委員会報酬費14万円余りの減額について。当初予算の9割近い減額の理由は。検討委員会からはどのような報告がなされたのか。

答 当初は公募した市民を含む基本計画策定検討委員会を組織

し検討していくこととしていたが、まず庁内検討委員会で事前の準備を行った。ここで市民アンケート調査、結果分析、基本構想、基本計画策定委員会の構成などを協議している。それを受けて、基本計画策定検討委員会は令和2年度に立ち上げる。そのため減額となった。

質疑

伊東 温子

問 歳入の森林整備センター分収造林費負担金1,567万3,000円減額の内容詳細は。

答 森林整備センターと市の分収造林地の適正管理、森林の公益的機能の保全を目的に、間伐10ha、搬出間伐17ha、作業道開設2,550mなどを計画していた。費用は100%、同センターが負担する。
当初予算は2,295万円で歳出に同額の予算を計上、年度途中で727万円余りの予算配分となり、差額分を減額している。

●議案第27号

令和2年度にかほ市一般会計予算

質疑

森 鉄也

問 図書館機能付き文化交流施設基本計画策定検討委員会報酬費20万円について、予定する委員構成、諮問内容、開催回数、期間は。

答 委員構成は公募市民、有識者、社会教育委員など10人程度。検討内容は場所、規模、機能、事業スケジュール、運営計画等、これらを協議して基本計画を策定する。令和2年度は、公募期間を考慮し立ち上げを8月と想定、4回程度の開催を見込む。先進地視察、市民ワークショップも行う。

庁内検討委員会も並行して協議事項をフィードバックしながら検討する。

質疑

佐藤 文昭

問 仁賀保学童保育クラブ移転工事設計委託料99万円について

①津波浸水想定区域で浸水深7.5メートルの平沢小体育館付近を移転予定地に選定した理由は。
②より安全な場所を選択するべきでなかったか。
③移転と建設場所を保護者へ説明したか。

答 ①②現在地は学校から遠く道路横断、踏切など、事故の心配があること、芹田く鈴の子どもたちは自宅と反対方向なことなどから、学校周辺を希望する声があった。そこで移設場所を検討してきたが、学校敷地内だけでなく平沢地区のほとんどが浸水区域となる。

平沢小は学校自体が避難所定期の避難訓練を実施しており、学校敷地内であれば、登校時と同じ

ように避難できることや学校と協議の結果、総合的に判断して選定した。
③保護者説明会は実施していない。学校を通し通知等で周知を図りたい。

討論

●議案第27号

令和2年度にかほ市一般会計予算

賛成討論

齋藤 聡

旧上郷小利活用事業委託料5,130万7,000円については、事業内容の不透明感や今後のランニングコストに不安を感じる意見もあるが、本事業は関係人口の拡大や人材育成といった地方創生には欠かせない面がある。中・長期的な視点で事業を行う必要性和市民参加、下支えが重要であることと理解する必要がある。

また、第2期総合戦略において、第1期の検証をもとに子ども伴走プロジェクトのシタイプロモーションや、若者100人会議など、人口減少に対し情報発信を強化しながら関係人口の拡大を図り移住・定住を促進しようとする10年、20年後を見据えたまちづくり構想の施策(を含む本予算)は、評価できるものと考えられる。

会派代表質問

本会議の様子は議会ホームページからオンデマンド（録画）でご覧いただけます。

録画配信



響 <small>いとう たけふみ</small> 伊藤 竹文 議員	1. 「環境にやさしいまちづくり」に関して 2. 人口減少問題と移住・定住施策について 3. プレミアム付き商品券事業について 4. 観光振興に関して 5. 地域おこし企業人プログラムの導入について 6. 高速道路の全線開通に向けた市の構想について	P. 8
創明会 <small>みやざき のぶかず</small> 宮崎 信一 議員	1. 「子育てしやすいまち」「若者に魅力のあるまち」について 2. 「稼ぐ力が強いまち」について 3. 「環境にやさしいまちづくり」について 4. 新型コロナウイルスに関連して	P. 8
爽風 <small>さいとう みつはる</small> 齋藤 光春 議員	1. にかほ市役所における「働き方改革」及び業務の効率化を図る「行政組織再編」の取り組みについて	P. 9
市民クラブ <small>さとう じいち</small> 佐藤 治一 議員	1. 若者に魅力のあるまちについて 2. 芸術文化の振興と支援について 3. 高齢者が元気なまちについて	P. 9
日本共産党 <small>ささ きはるお</small> 佐々木春男 議員	1. 農業振興に関連して 2. 福祉政策の拡充に関連して	P. 10
公明党 <small>ささ きとしはる</small> 佐々木敏春 議員	1. 第2期にかほ市まち・ひと・しごと創生総合戦略について	P. 10

一般質問

<small>ささ きまさかつ</small> 佐々木正勝 議員	1. 風力発電施設について	P. 11
<small>しぶや まさとし</small> 渋谷 正敏 議員	1. ねむの丘の使用料減額の補正予算に関する議会付帯決議への見解は 2. 外国人労働者（技能実習生）確保の取り組みについて	P. 11
<small>さいとう みつはる</small> 齋藤 光春 議員	1. 再生可能エネルギー発電施設の設置について 2. 廃校等の活用による地域振興について	P. 12
<small>さとう じいち</small> 佐藤 治一 議員	1. 地域公共交通の維持・確保について	P. 12
<small>ささ きとしはる</small> 佐々木敏春 議員	1. 防災避難行動に関するマイ・タイムラインの作成について 2. ひきこもり支援について	P. 13
<small>ささ きはるお</small> 佐々木春男 議員	1. 激甚化している自然災害と防災に関連して 2. 住みよさランキング高評価に関連して 3. イージスアショアの新屋地区配備に関連して	P. 13
<small>おがわ まさふみ</small> 小川 正文 議員	1. 市川市政の2年と今後について 2. 図書館機能付き文化交流施設（仮称）について 3. 会計年度任用職員制度について	P. 14
<small>さいとう さとし</small> 齋藤 聡 議員	1. 「第2期にかほ市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について	P. 14

響

伊藤 いたう
竹文 たけふみ
議員



これまでの移住・定住施策の取り組みの検証は

市長

即効性あるものでもなく
ある程度長い期間が必要



録画配信

環境にやさしいまちづくりに関して

問 景観計画により、大型陸上風力発電風車の設置が制限される。今後どのようにして再生エネルギーの導入、促進を進めていくのか。

市長 風力発電の導入見通しは12万4千kW、現時点で約8万3400kW。今後の推進協議会で風力発電の導入見通しに関してもゾーニングマップや今後計画されている整備事業を考えあわせ、改めて導入見通しを定める。人口減少問題と移住・定住施策について

問 移住・定住施策について、これまでの実績を検証し、今後の改善、移住者促進が見込めるか。

市長 移住希望者の視点に立った施策の必要性から地域おこし協力隊移住リエゾンを配置する。また子育て世帯や就職による若者の定住を強化するため、若者支援住宅整備コンサルタント事業を行う。都市部からの人の流れの仕組みづくりを、ソフト・ハードの両面から多角的に行う。

観光振興に関して

問 株式会社モンベルとの包括連携協定に基づき、新たな観光基盤の造成と交流人口の拡大を図るため、市長が考える基本構想の具体的な施策は。

市長 同社が持つノウハウを活用し市内に点在するアウトドア拠点をプロ目線で活用することを目指して基本構想を策定する。モンベルクラブの会員数も95万人を超えており、同クラブが企画するイベントツアーは年間4千件以上。交流人口の新たな需要開拓にも繋がるかと期待している。

問 日沿道の2026年度の新線開通を見据えて、パーキングエリアを含めた将来構想を示す時期であると考えるか。

市長 遊佐―象潟道路は無料区間で比較的自由に乗り降りでき市内の道の駅まで行くことが出来る。パーキングエリアの設置よりは、地域活性化の拠点として道の駅への誘導に力を注ぐべきと考える。

若い人たちに期待する部分が多い
子育てしやすいまち、若者に魅力のあるまちについて

市長

政策の根幹に位置する
宿泊型産後ケアなどの実施



録画配信

創明会

宮崎 みやざき
信一 のぶかず
議員



宿泊型産後ケアについて

問 日本海総合病院に委託する「宿泊型産後ケア」について。

市長 概ね4か月までの子どもと一緒に医療機関等に宿泊しながら、育児相談のほか授乳や沐浴などの育児指導を助産師から受けることができる。にかほ市の暮らしについて

問 教育環境、住環境、働き方の確保などをパッケージ化し、若い世代に発信する「にかほの暮らし」について。

市長 若い世代を呼び込み、移住してもらい、ここで子どもを育てる。住みよさランキングについて

問 ランキング評価を行政としてはどのように移住・定住促進、子育て支援に生かしていくのか。

市長 この結果を広くPRし、積極的に移住・定住施策に活用する。にかほ市の強み弱みの冷静な分析をいただいたものと解し、強みはより強く、弱いところはそれを強みと変えるべく施策強化に繋げていきたい。

職員採用について

問 現在、社会人枠はなくなったのか。

市長 平成28年度採用者からは市内在住者も応募できることにした。ここ2年、社会人枠を募集しなかったが、社会人枠を廃止したのではない。森林関係について

問 森林経営管理制度が平成31年4月に施行されている。再造林、保育等はどうに行われるのか。

市長 概ね15年をかけて対象森林を適正な森林状態に向けて管理、整備していく。

問 新型コロナウイルスの感染者が、万一、当市で発生した場合の対策はどうなっているのか。

市長 2月28日から新型コロナウイルス感染症に係るにかほ市警戒本部（4/8）同対策本部）が対応に当たっている。本市の方が感染した場合、県が医療機関等と連携しながら対応する。職員の対応マニュアルも作成している。



爽風 齋藤光春 議員

市役所における「働き方改革」と「組織再編」は



録画配信

効率化、合理化、サービス向上を図る

市長

「働き方改革」「組織再編」と行政サービスについて
問 最先端機器の使い方
 が分からない、情報端末
 機を持たない、交通手段
 も十分でないような高齢
 者等へのサービスについ
 て伺う。

市長 窓口業務は、効率
 化を図りながらも満足度
 を高め、充実させる。広
 報など紙媒体での情報提
 供も引き続き実施して、
 行政情報の周知を図る。

問 会計年度任用職員制
 度によって、家計月収が
 減る場合が懸念されるが、
 市長の考えは。

市長 現在の賃金水準を
 下回らない様に給料表の
 格付けを設定する。期末
 手当の支給割合を正職員
 と同じ月数にする。でき
 るだけ待遇改善を目指し
 た制度設計。

問 職員の適正をどの様
 な手段で把握して、人員
 配置を行っているか。

市長 自己評価や上司の
 評価、半年ごとに行う業
 績評価などを通じて把握
 している。独自の取り組
 みとしては、私自身が各
 職場に向き、職員一人

一人と面談をしている。
 適材適所で、職員の適正
 やスキルを生かせる部署
 に配置している。

問 教育委員会に位置し
 ていたスポーツ振興課と
 B&G海洋センターが商
 工観光部に移管された場
 合、教育目的の事業と、
 観光や商業ベースの事業
 とでは違うものと考えら
 れるが、市長の考えは。

市長 今回の組織再編は、
 スポーツを起爆剤とした
 地域の活性化を目指す上
 で、よりスピーディーに
 施策に反映しやすい体制
 を構築するもの。再編後
 も、教育委員会と連携し
 ながらスポーツの本質を
 見失うことなく、子ども
 たちの教育と市民の健康
 維持増進に努める。



図書館機能付き文化交流施設（仮称）の整備について



録画配信

財政規模に見合った施設整備を図りたい

市長

若者支援住宅整備事業に
 ついて

問 (1)集合住宅とは、ど
 のようなイメージのもの
 なのか。
 (2)ニーズ調査は行われて
 いるのか。
 (3)既存空き家、市営住宅
 との関連は。

市長 (1)子育て世代が住
 んでよかったと思えるよ
 うなもの。
 (2)具体的な調査は行っ
 ていない。
 (3)所得制限に関わらず入
 居できる、子育て世代が
 安心して入居できる住宅
 が必要と考えている。

**図書館機能付き文化交流
 施設（仮称）の整備につ
 いて**
問 (1)市長が描いている
 文化施設の規模と機能は。
 (2)アンケート調査実施方
 法について
 (3)市民から利用いただけ
 る魅力ある施設整備の基
 礎資料と捉えているのか。
 (4)整備そのものに反対と
 回答した方の詳細は。
 (5)整備の是非を含めた全
 戸配布のアンケート調査
 を再度実施しては。

市長 (1)市の財政規模等
 に合った、身の丈に合っ

た施設を整備したい。
 (2)十分な精度であり、
 施設整備にかかる基本計
 画に反映させたい。

問 (1)進捗状況と令和2
 年度の事業計画は。
 (2)現時点での課題と対策
 は。
市長 (1)令和元年度は、
 居場所の情報収集や居場
 所の開発と周知方法につ
 いて協議している。来年
 度は居場所づくりの協力
 意向調査や居場所ガイド
 の作成等を行う予定。
 (2)家から出ない高齢者へ
 の対策が課題で見守りや
 声掛けの互助の仕組みづ
 くりに取り組んでいくこ
 とを検討している。また、
 若い世代の後継者及び担
 い手不足が課題であり、
 若い世代への意識づけが
 出来ればよいと考えて
 いる。

日本共産党
佐々木春男 議員



中小規模農家の支援を

市長 法人や集落営農に加入を



録画配信

問 農業振興について「日本農業新聞」のJA組合長アンケートでは、3分の2の方が「中小規模を含めた多様な担い手を対象とする所得政策が必要」JAの組織においても、「地域での生産活動を進めていくうえで中小規模農家の必要性、保護」を明らかにしている。市長の見解を伺う。

市長 農道、用排水路、畦畔、ため池等の農業施設の維持管理、また多面的機能支払交付金事業や中山間地域等直接支払交付金事業が活用され、協働作業により地域農業の生活基盤の維持について支援が行われていると考えている。また、営農作業機械、設備等に対する支援は、認定農業者や法人等に限られているが、集落営農や法人の組織に加入することなどで、組織員として支援を受けることが可能になると考えている。

問 福祉計画の拡充についてにかほ市の行っている医療費の乳幼児、小・中・高・一人親の自己負担無料化などは大いに評価されるものだ。一方で国の政策では、高齢介護サービス費の負担限度額の引き上げ、施設入居者の食費、住居費の負担増、年金受給者の実質減額、生活保護者の生活扶助費の削減など、国民に痛みを押し付けている。このようなところの障がい者を含めて支援・援助ができないものか、市長の考えを伺う。

市長 障害のある人のみならず、各種相談支援体制の充実を図り、必要な時に必要なサービスの利用に結びつくことができるよう、年金なども含む生活支援に取り組んでいる。また現行制度では対応できない支援、要望があるときは他制度との関係や必要性、公平性を十分に精査しながら対応を検討していきたい。

市民と一体となって進める「総合戦略」

市長 「雇用の安定による共働き社会実現プラス子育て支援」は人口減少に対する挑戦戦略



録画配信

公明党
佐々木敏春 議員



将来に希望が持てるビジョンを示した2期目の総合戦略が示された。分かりやすく親しみが持て、市民が共にまちづくりに参加できるよう、視覚に訴えるなどの配慮も必要では。

問 にかほ市が目指す方向を示した2期目の総合戦略が示された。分かりやすく親しみが持て、市民が共にまちづくりに参加できるよう、視覚に訴えるなどの配慮も必要では。

市長 策定委員会からは「住民に広く周知する事が大切である」と意見が付けられている。ホームページや広報で公表するほか、令和2年度の主要事業と総合戦略がどのように関わるのかについて周知を図るため、方法や時期などについて十分検討したい。

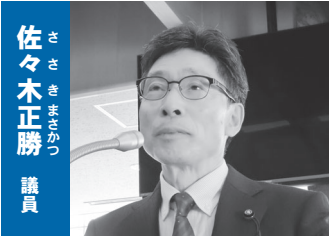
にかほ市が目指すべき将来への方向性は大きく変えていない

問 今後20年間で市の人口が約1万人減少する人口ビジョンが示されている。それに向けた第2期総合戦略では、(1期とどこに違いがあるか。

市長 第1期5年間の取り組みの成果は見え始めている。引き続き産業振興や移住・定住など人口の社会増、子育て支援や健康づくりにより自然増に取り組み。2期計画では、中心的施策を子育て支援とし、「にかほ子ども伴奏プロジェクト」を開始する。

問 人口減少社会の中で豊かに暮らせるための政策・施策をどう捉えるか。

市長 「産業の振興」「人を呼び込むまちづくり」「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」取り組みのほか、「未来を支える人づくり」と「豊かな暮らしを支えるまちづくり」の各種施策により「持続可能な地域づくり」を進める。



佐々木正勝 議員

工場の近距離にある風力発電の危険性を市としてどのように考えているか



録画配信

「危険」という言葉で表現することは適当ではないと考えている

市長

発電施設が工場近接地に存在する不安

問 工場の近距離にある発電施設の危険性を、市としてどのように考えているか。

市長 (発電施設は) 国あるいは関係機関による適合性試験に合格、クリアした部材や設備等をもって関係法令等に基づいて審査や技術基準に沿って建設整備されるものであり、「危険」という言葉で表現することは適当ではない。

問 (市の) ガイドラインで「住宅等」には工場は入っていないが、事業所等工場を含める考えはないか。

市長 ゾーニング後、景観条例の策定にまで進むが、その中で、きつちりと明記するように話している。

問 トラブル防止として、(建設時の説明を義務化する) 条例の制定は必要と思うが見解はどうか。

市長 ゾーニング実証事業で、条例整備の必要性も含めて広く議論をしていくことになる。

道路そばに

建設された風車

問 道路そばに建設されている発電施設を、市としてどのように考えているのか。特に危険とは捉えていないのか。

市長 構造的に、部材的に基準を満たしている施設について、今の段階でそれを危険だからとか、道路のそばで大変危ないと言ふことはできない。それについては差し控えないければならないと思う。

問 道路からの距離を明確にした基準を盛り込んだ条例等の考えはあるか。

市長 景観条例では規制できない、景観条例はそういうものではない。そのため次の段階の条例を作りたいというのを申し上げている。御理解いただきたい。



12月補正予算は付帯決議とともに可決された。市長の率直な考えは



録画配信

説明が不十分であったことを理解しさらにご理解をいただくことに努めていく

市長

12月定例会での一般会計補正予算についての付帯決議

問 先の12月補正予算は、付帯決議とともに可決されたことへの市長の率直な考えは。

市長 私どもの説明が不十分であったことを理解し、関係条例、指定管理者の基本協定等に沿って、業務の実施状況の報告と確認、実地調査をし、必要な指示をしていく。

問 にかほ市観光開発株式会社社の経営状況を確認し、かつ議会の意見を反映できる仕組みを検討する考えはあるか。

市長 経営分析を図れる一定の評価指針等を作成し、経営分析を行うことで、経営改善指導を実施したいと考えている。議会の意見を反映できる仕組みは、直接、株式会社社の経営に意見を反映させることになるので、できないものと認識している。

問 付帯決議に取り組み考えがあるならば、いつ頃まで議会に示すのか。

市長 付帯決議に基づく議会の意見については、政治的にきちんと対応していかなければならない。

問 外国人労働者(技能実習生) 確保の取り組みについて

市長 外国人を受け入れる生活環境やその他で、市行政がやるべきことは何なのか。

市長 市で暮らす外国人の皆さんが普通に生活していけるようなお手伝いをする、市の文化、風土の理解や市民との交流活動の実施なども行っていきたい。

問 市で就労している外国人人材は、にかほ市行政に何を望んでいるのか。

市長 日本語を学べる機会の充実や他の企業や日本人との交流の機会を増やしてもらいたいといった要望が多く寄せられている。



再生可能エネルギー発電施設の設置について



齋藤 光春 議員

市長

景観計画やゾーニングの活用により、観光面での秩序ある利用できるよう取り組んでいく



録画配信

住民への概要説明

問 風車設置増加の経過と設置にあたっての住民への周知はどのように行なったか。

企画調整部長

自治会等の総会の機会を捉え、事業者や再生エネルギー関連の協力事業者等が出席して発電施設の規模や、どのような経営方針なのか、また、事業期間等について説明されているようだ。大型風車で事業展開を計画している事業者は、概ね早い段階で住民や関係者に事業計画を周知されている。

問 本市に設置されている風車が人体に及ぼす影響の調査結果と共鳴・共振による増幅の可能性は。

企画調整部長

ブレードの回転によって体調がすぐれなくなっていると、健康面に対する報告が寄せられていた。状況を聞き取りの上、該当事業者に対して丁寧でしっかりと対処するように求めている。市が実施する具体的な個別調査までは行っていない。私どもは専門

の知識や知見も持ち合わせていないので、そうした考えを裏付ける根拠もないことから、正直には分からない。

問 日常生活における景観と観光資源としての景観をどのように考えているのか。

市長

アンケートなどから住民も風車などを景観阻害要因として認識していることをうかがい知っている。

問 本市での洋上風力発電事業計画の可能性は。由利本荘以北の洋上風力発電事業の本市の漁業への影響は。

市長

本市沖が指定区域とはされがたく、事業が計画される可能性は今のところ極めて低い。サケやハタハタなどの回遊魚のルートや接岸、また、放流された稚魚が北へ向かう際の影響などが考えられる。本地域では前例がないため予測はできていない。

令和3年4月の運行開始を検討している

芹田～両前寺間の沿岸部分のコミュニティバスの運行は



佐藤 治一 議員

部長

令和3年4月の運行開始を検討している



録画配信

地域公共交通の維持・確保業の実績について。

問 コミュニティバス事業の実績について。

企画調整部長

事業費、事業収入、利用者の推移については、令和元年度の約3,900万円弱が最大で、平成25年度以降は概ね3,600万円から3,800万円で推移している。事業収入は、ここ3ヶ年の総額で880万円から1,450万円ほどの収入となつている。利用者数は、平成23年度の6万3,855人がピークで平成30年度は4万1,297人となっている。

問 コミュニティバスの空白地域の仁賀保地区の芹田から両前寺の沿岸部分の交通弱者に対する対策について。

企画調整部長

芹田と両前寺の区域における駅や大型スパーへの移動手段としてのコミュニティバスの運行について、令和3年4月の運行開始を目標として具体的な検討をしている。

問 デマンド交通、乗合タクシーの導入について

企画調整部長 デマンド化については状況を観察した上で導入を判断していきたい。乗合タクシーについては、デマンド化への転換を図る際にはタクシーの活用を含めた検討を行っていく。

問 公共交通事業にグリッドの実証実験を提案したいが見解は。

企画調整部長

羽後交通小砂川線の運行エリア内で活躍できるのではないかと想像している。集落内から国道7号線のバス停までの移動に活用し、羽後交通路線に接続する想定。具体的には中ノ沢自治会、川袋自治会などの自治会が考えられる。まずは上浜地区での導入を検討したい。

(注)グリッドロイグリーンスローモビリティ。時速20kmの低速な電動公共交通。



佐々木敏春 議員



災害が頻発している 避難行動を起こす難しさが浮き彫りになっている



まずは避難することが大事
近年の災害における共通認識

市長

防災の基本は自らの身を
守る「自助」

問 自分自身の防災行動
計画「マイ・タイムライ
ン」が注目されている。
市の取り組みは。

総務部長 マイ・タイム
ラインは、自分自身や家
族のとるべき行動のチェ
ック、判断の助けとなり、
避難の強化につながる。
今後、出前講座などを通
し取り組みを進めていく。

問 急傾斜地などリスク
が高い地域で、マイ・タ
イムラインの作成を進め
てはどうか。

総務部長 地域からの要
請に対し、マイ・タイム
ライン作成に向けた助言
や支援を行っていく。

問 一人暮らしの高齢者
には、防災ラジオの貸与
などが有効ではないか。

総務部長 防災行政無線
の更新時期、10年を迎え
る令和3年度以降、防災
ラジオの導入も含め機能
強化を検討したい。



ひきこもり支援について
問 ひきこもり支援を外
部委託できないか。

市民福祉部長 (現在、委
託できる組織等はない。
しかし、支援に対する社
会のニーズは高まってお
り、ひきこもりサポーター
の養成など、理解を深め
支援に繋がる取り組みを
検討したい。

問 不登校や早期のひき
こもりへの対応は。

市民福祉部長 不登校が
ひきこもり要因の一つと
捉え、欠席が二日続いた
ら必ず家庭に連絡し長期
欠席にならないようにし
ている。また、教育研究
所に教員OBを配置し、
気軽に相談できる体制を
整えている。

問 関係機関の連携や10
年、20年後を見据えた取
り組みが求められる。市
が方針を定め、腰を据え
た対応が必要ではないか。

市民福祉部長 国は、市
町村の役割に、ひきこも
りへの理解や支援情報の
発信、相談窓口や居場所
の提供を行う拠点づくり
を掲げている。次期地域
福祉計画における取り組
みを検討する。

激甚化している自然災害と防災について 市民を交えたCO₂削減の取り組みが必要



多くの人の取り組みが必要
周知・啓発に努めたい

市長

激甚化している自然災害
と防災について

問 河川、ため池、急傾
斜地などの調査、把握、
対策は。防災ラジオなど
全ての世帯に情報が届く
手段も必要ではないか。

農林水産建設部長 市内
の主な河川、2級河川の
白雪川、奈曽川、大沢
川、赤石川の4河川5カ
所は危機管理型水位計を
秋田県が設置し、随時観
測できるようになってい
る。市管理の川袋川も、
モニタリング用の水位計
を設置し、随時観測を行
っている。水害の発生が
予想される際には、市民
に対し速やかに周知して
いる。

ため池については、市
内79のうち、63カ所を防
災重点ため池に選定。ハ
ザードマップを作成し、
市民及び関係機関に周知
する計画。

急傾斜地危険区域は秋
田県土砂災害危険箇所マ
ップが県のホームページ
から閲覧可能。市内のマ
ップを4月1日の広報と
あわせて全戸配布する。
現状の設備では防災ラ
ジオの導入は難しい。防

災行政無線の令和3年度
以降の更新の際に、防災
ラジオの導入も検討した
い。

住みよさランキング高評
価に関連して

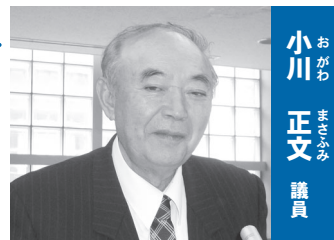
問 「住みよさランキン
グ2019」などで、に
かほ市は高い評価をされ
ている。評価の高くない
所の実情調査、改善につ
いての考えは。

市長 当市の強み、弱み
を的確に把握し、強みを
伸ばし、弱みを強みに変
えていく取り組みは重要
なこと。さらなる高みを
目指していきたい。

イージス・アショアにつ
いて

問 にかほ市も調査の対
象地区に挙げられている
ことへの見解は。

市長 防衛政策は国の役
割と責任に属する。配備
候補地にかほ市内の3
カ所の国有地が含まれて
いる。国や県からの連絡
や情報提供は一切ない。
見解を述べる段階にはな
い。現時点は今後の防衛
省の動向を見守る。



小川 正文 議員

文化交流施設に関するアンケートには 市民のさまざまな意見もあるが

市長 公約と市民の意見は乖離していない



録画配信

問 図書館機能付き文化交流施設（仮称）について、広報2月1日号において、アンケート調査の結果の概要が公表されたが、アンケート回答率と、それについての当局の考えを伺う。

教育次長 回答数は一般市民1,189人、中学生563人の計1,752人。1月末の本市の人口2万4,272人に対し7.2%の回答率。一般的なサンプリング調査の場合、統計学上の本市の必要サンプル数は379で、それを大きく上回っていることから、信頼性の高いものと考えている。

問 アンケートの自由記入欄には、新しい施設はいいけど、反対意見もあつたようだが、広報には載っていないことについて伺う。

市長 すでに図書館を中心とした複合文化交流施設を造ると公約に掲げており、実現に向けて取り組んでいきたいという意思がある。

今回のアンケート調査

は、この公約と市民の意見は乖離していないと判断する材料として有効に活用できると理解している。反対意見を載せていないことに他意はない。

問 市の公共施設等総合管理計画には、こびあの他施設の転用、利活用、あり方、機能を検討とあるが、他の図書館のことも含めて伺う。

市長 こびあは、金浦地域に図書館機能付き文化交流施設を造るので、同様のものが二つある必要はないと考える。象潟、仁賀保地域には分館は必要だと思ふ。

問 どのような図書館、文化交流施設を構想しているのか伺う。

市長 子どもからお年寄りまで多くの市民が集い、様々な活動を通じ、いつでも利用、交流できる施設を考えている。



検証結果をもとにした第1期総合戦略の総括について

市長 人口減少の克服という視点で捉えると 第1期計画の目的はまだまだ達成できていない



録画配信



齋藤 聡 議員

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定までの経緯に関連して

問 第1期総合戦略の総括は。

市長 産業振興分野は概ね目標は達成。移住・定住対策はほぼ目標達成。少子化対策は大幅に目標を下回っている。最も不安要素が多い子育てや教育にお金が掛かるといふ不安、負担の軽減、子育てに関する包括的な支援体制を構築し、新たな戦略で子育てに伴奏しながら目標の達成に繋げていく。

問 市長が考える「何があっても」重点的に取り組んで達成したいと考える項目・施策・事業は。

市長 子育て関連施設のさらなる展開。子どもに寄り添い、みんなが子育てをし、安心して育てていけるにかほ市を目指していく。

問 暮らしてみたいまち、北海道・東北ブロックで1位と評価される施策を行っているのに、外に向けての発信がうまくいっていない。市長の見解と、

ホームページ構築の経過は。

市長 昨年10月、金浦保健センターに子育て世代包括支援センター、母子保健型ネウボラ「あのね」を設置。今後子ども伴奏プロジェクトとして関連サイトを新設するなど、総合戦略とリンクした情報発信を検討したい。運用も改善を加えたい。ホームページはもう一度確認し検討したい。

問 結婚しやすい環境づくりに関して、若者の意識調査を行い、事業計画を練り直す必要があるのではないか。

市長 環境や意識の変化に伴うニーズ調査を行うとともに、結婚支援センターをさらに活用すべく情報交換等の連携を高め、広く周知を図りたい。市内独身男女の出会いの創出、結婚しやすい環境整備とサポートをしたい。



総務常任委員会

総務常任委員会（小委員会を含む）への付託案件はすべて可決されています。2件で賛否が分かれています。

一般会計の決算・予算は特別委員会から小委員会へ分割付託している。

●議案第3号
組織再編に伴う関係条例の整備に関する条例制定

委員会審査結果

議案番号	議案の名称	審査結果	理由
議案第1号	令和元年度にかほ市一般会計補正予算(第9号)の専決処分の報告及びその承認について(専決第1号)	承認	全員賛成
議案第3号	組織再編に伴う関係条例の整備に関する条例制定について	可決	賛成多数
議案第4号	にかほ市監査委員条例の一部を改正する条例制定について	可決	全員賛成
議案第5号	にかほ市行政不服審査関係手数料条例の一部を改正する条例制定について	可決	全員賛成
議案第20号	令和元年度にかほ市一般会計補正予算(第10号)について	可決	全員賛成
議案第27号	令和2年度にかほ市一般会計予算について	可決	賛成多数

審査概要 スポーツによる交流人口拡大のためスポーツ振興課とB&G海洋センターを商工観光部へ移すことに対して「スポーツと観光を結び付けるのは難しい」と反対意見があったが、結果、賛成が多数を占めた。

○所管事務調査(第2期総合戦略に関して)
【質問】総合戦略推進のための、今後の財源・予算をどう考えているか。
【答弁】総合戦略部分から見た財政計画、財政推計、予算などの検証は特に行っていない。

●議案第1号
令和元年度にかほ市一般会計補正予算(第9号)(専決第1号)
【質問】専決処分を妥当とした考え方は？
【答弁】ふるさと納税関連経費の増額補正。予備費は緊急事態のため。(制度上)支出は必須のもの、理解いただけると考えた。

一般会計予算特別総務小委員会

●議案第20号？
令和元年度にかほ市一般会計補正予算(第10号)

【質問】外国人技能実習生管理組合設立支援業務委託料の減額理由は？
【答弁】(組合設立運営より)企業は組合運営よりベトナムから来てもらえる施策や、外国人へどう手立てするかを望んでいる。そこから事業展開する必要があるので取り止めた。

【質問】RPA導入関連275万円の内容は？
【答弁】RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)の略語。パソコンソフトが組み立てた順番どおりに業務をこなす。税務課の軽自動車の廃車業務、総務課の人事異動に伴う職員名簿や構成図の作成業務で導入する。

●議案第27号
令和2年度にかほ市一般会計予算
【質問】仁賀保高校教育振興会助成金(例年比65

万円増額)の内訳は？
【答弁】情報メディア科の生徒が1人1台で授業に活用する教育用iPadの購入10台分と、一部補助として先進テクノロジー視察研修。国内最大のITイベントの視察や有名IT企業でのインターンシップなど。

○旧上郷小学校利活用事業5,130万円関連
審査概要 「3年間の事業を考えた場合、不安要素がある難しい事業だ。納得できない」とする反対意見や「利益性重視の事業でない。関係人口増大や人材育成など一朝一夕に成果が示されるものではない。市民参加や下支えが非常に重要な事業である。議会も理解しながら事業推進を監視し提言する必要がある」などの賛成意見があり、結果、賛成多数で可決。

総務常任委員長 伊藤 竹文

教育民生常任委員会

教育民生常任委員会(小委員会含む)への付託案件は、陳情1件を継続審査としたほかはすべて可決。

○所管事務調査(第2期総合戦略に関して)

【質問】子ども・子育て事業も含めて子どもの成長に合わせて新たにプロジェクトを組んで総合的に切れ目のない支援を行うという意思表示。各課一堂に会しプロジェクトを検討したものではない。子育て支援は、医療、住まい、働き、保護者の支援まで幅広い支援を一体的に、連携をもちながら事業に取り組んでいく。現在も横断的な連携・協議をしている。

【質問】子ども・子育て事業も含めて子どもの成長に合わせて新たにプロジェクトを組んで総合的に切れ目のない支援を行うという意思表示。各課一堂に会しプロジェクトを検討したものではない。子育て支援は、医療、住まい、働き、保護者の支援まで幅広い支援を一体的に、連携をもちながら事業に取り組んでいく。現在も横断的な連携・協議をしている。

【答弁】既存、新規、拡充に合わせたプロジェクトを組んで総合的に切れ目のない支援を行うという意思表示。各課一堂に会しプロジェクトを検討したものではない。子育て支援は、医療、住まい、働き、保護者の支援まで幅広い支援を一体的に、連携をもちながら事業に取り組んでいく。現在も横断的な連携・協議をしている。

一般会計予算特別教育民生小委員会

●議案第20号

令和元年度にかほ市一般会計補正予算(第10号)

○プレミアム付商品券事業関連1,680万円減額

【質問】制度内容を大々に広報し、利用率を上げるべきでなかったか。

【答弁】指針に沿った広報活動のほか、対象者に対し再勧奨など対策した。むしろ事前の購入代金等の負担感が大きな要因。

●議案第27号

令和2年度にかほ市一般会計予算

○多目的福祉施設整備事業補助金861万円

【質問】施設の整備・運営者(法人)と市の関わり、取り決め事項などは?

【答弁】施設を市民が利用する便宜のため備品調達への助成。原則4分の3補助(例外あり)。法人の自主的な施設整備・運営であるが、取り決め事項、関わり方を協議する。

○獅子ヶ鼻湿原環境調査委託料215万9千円

【質問】調査の詳細は?

【答弁】前回、平成18年度から20年度に実施した流量、流量網調査と同様の地点数を調査し、比較分析する。流量測定は10カ所、春夏秋の3回観測。流量網調査は、前回との変化、枯れる流路と枯れない流路に時期的な変化がないか調査する。

○仁賀保学童保育クラブ移転工事設計委託料99万円

【質問】金浦と象潟は学校施設を利用して建てる。何千万もかけて建てる必要性があるのか。津波浸水想定区域となる場所(平沢小体育館脇)も含め、検討はどうだったのか。

【答弁】校舎内に十分なスペースがない。学校周辺を希望する声が寄せられていた。学校で避難訓練をしているので直ちに避難できる。交通や不審者等、通所の安全性等を考慮した。

教育民生常任委員長

伊東 温子

委員会審査結果

議案番号	議案の名称	審査結果	理由
議案第6号	にかほ市国民健康保険財政調整基金条例の一部を改正する条例制定について	可決	全員賛成
議案第8号	にかほ市立学校給食共同調理場条例の一部を改正する条例制定について	可決	全員賛成
議案第9号	にかほ市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	可決	全員賛成
議案第20号	令和元年度にかほ市一般会計補正予算(第10号)について	可決	全員賛成
議案第21号	令和元年度にかほ市国民健康保険事業特別会計事業勘定補正予算(第3号)について	可決	全員賛成
議案第22号	令和元年度にかほ市国民健康保険事業特別会計施設勘定補正予算(第3号)について	可決	全員賛成
議案第27号	令和2年度にかほ市一般会計予算について	可決	全員賛成
議案第28号	令和2年度にかほ市国民健康保険事業特別会計事業勘定予算について	可決	全員賛成
議案第29号	令和2年度にかほ市国民健康保険事業特別会計施設勘定予算について	可決	全員賛成
議案第30号	令和2年度にかほ市後期高齢者医療特別会計予算について	可決	全員賛成
陳情第2号	公立学校に「1年単位の变形労働時間制」を導入する条例制定に反対する陳情	継続審査	—

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会(小委員会含む)の審査では、議案第27号令和2年度に

172万1千円を減額)が全員の賛成で可決、修正部分を除いた原案は全員の賛成で可決しています。陳情第1号は継続審査、その他の付託案件はすべて全員賛成。

○所管事務調査(第2期総合戦略に関して) 審査概要 主に第1期戦略の実績・評価を受けての第2期戦略の目標設定に関して質疑があった。雇用創出数の根拠、企業連携による新産業創出、

移住・定住希望者の情報発信の効果、若者の定着、女性の職場環境の充実など。

●議案第12号 にかほの景観を守り育む条例制定

審査概要 市内に大型風車が増えてられる可能性のある場所では、高さや他の基準が適合しない場合には指導が可能であるということ。

賛成討論 これからの景観形成のために大変重要。隣接市町と連携を深め、広域的な観光スポットを軸として景観全体が著しく損なわれないように入れたいただきたいと申し入れをして賛成する。

産業建設常任委員長 佐々木春男

委員会審査結果

議案番号	議案の名称	審査結果	理由
議案第7号	にかほ市特別導入事業基金条例を廃止する条例制定について	可決	全員賛成
議案第10号	にかほ市農業関連施設条例の一部を改正する条例制定について	可決	全員賛成
議案第11号	にかほ市道路占用料徴収条例及びにかほ市行政財産使用料徴収条例の一部を改正する条例制定について	可決	全員賛成
議案第12号	にかほの景観を守り育む条例制定について	可決	全員賛成
議案第13号	ガス事業譲渡に伴う関係条例の整備に関する条例制定について	可決	全員賛成
議案第14号	市道線の廃止について	可決	全員賛成
議案第15号	市道路線の廃止について	可決	全員賛成
議案第16号	市有財産の無償譲渡について	可決	全員賛成
議案第17号	令和元年度にかほ市ガス事業会計資本金の額の減少について	可決	全員賛成
議案第18号	にかほ市公共下水道事業特別会計への繰入れについて	可決	全員賛成
議案第19号	にかほ市農業集落排水事業特別会計への繰入れについて	可決	全員賛成
議案第20号	令和元年度にかほ市一般会計補正予算(第10号)について	可決	全員賛成
議案第23号	令和元年度にかほ市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)について	可決	全員賛成
議案第24号	令和元年度にかほ市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)について	可決	全員賛成
議案第25号	令和元年度にかほ市ガス事業会計補正予算(第5号)について	可決	全員賛成
議案第26号	令和元年度にかほ市水道事業会計補正予算(第4号)について	可決	全員賛成
議案第27号	令和2年度にかほ市一般会計予算について	修正可決	全員賛成
議案第31号	令和2年度にかほ市公共下水道事業特別会計予算について	可決	全員賛成
議案第32号	令和2年度にかほ市農業集落排水事業特別会計予算について	可決	全員賛成
議案第33号	令和2年度にかほ市ガス事業清算特別会計予算について	可決	全員賛成
議案第34号	令和2年度にかほ市水道事業会計予算について	可決	全員賛成
議案第35号	にかほ市中小企業振興資金融資あっせんに関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	全員賛成
陳情第1号	最低賃金の改善と全国一律制にすることを求める陳情	継続審査	-

定例会概要
質疑・討論
会派代表質問
一般質問
委員会報告
特集

ガス事業→民間へ譲渡

清算特別会計という初めて経験する予算で事業売払い収入で全てが間に合い市に2億円余の余剰金が入る予定。



菊地 衛 議員

ガス事業清算特別会計

2,021,746千円

高原の風に触れる

アウトドアを観光の一環として捉え、恵まれた自然環境を有効に活用できるものと期待する事業である。



佐藤 元 議員

アウトドア拠点づくり
事業委託料

8,250千円

本市活性化に向けて

第Ⅰ期総合戦略の検証により策定された第Ⅱ期総合戦略の具体的な施策がどのくらいの費用対効果をもたらすか。



齋藤 光春 議員

総合戦略関連予算

126,000千円

令和2年度予算 ここに注目!

関係人口の創出

関係人口が持つふるさと地域づくりに期待もするが全貌が良く見えず不安も残る。地域の理解が必要不可欠。



佐々木 孝二 議員

旧上郷小利活用事業
委託料

51,370千円

地域おこし協力隊

3年間、人口減少、高齢化の著しい町に都会からやってくる。新鮮な目で見るとかほの情報発信に期待する。



小川 正文 議員

地域おこし協力隊
関連予算

3,276千円

きめ細かな事業

人は群の中で子育てをしてきた。社会の変化がそれを疎外し、社会問題となっている。きめ細かな事業と思う。



伊東 温子 議員

産後ケア事業

181千円

出産子育て支援の充実

妊産婦の医療費助成は県内でも先進的な取り組みであり、安心して出産・子育てができる環境がさらに充実した。



森 鉄也 議員

妊産婦医療費助成金

2,000千円

観るから感じるへ

バーチャル、ITの時代に五感で楽しむアウトドア、パーマカルチャー、一次産業とのコラボにも期待したい。



齋藤 進 議員

アウトドア拠点づくり
基本構想

8,250千円

おたふく予防接種

インフルエンザやロタウィルス、おたふくの予防接種費用の助成が拡充されることにより子供の多くも保護される。



齋藤 聡 議員

任意予防接種事業

3,732千円

高齢者が元気なまち

元気で活躍し支え合う高齢者の社会参加により、高齢になっても住み続けられる「互助の地域づくり」を推進。



生活支援体制整備事業

7,091千円

佐々木 敏春 議員

出産子育て環境の充実

母子保健事業（ネウボラ）等子育てには福祉医療助成事業、母子保健事業や地域子ども子育て支援等効果に期待。



子育てしやすいまち

2,022,177千円

伊藤 竹文 議員

森林整備意向調査

森林経営管理制度により、対象森林と所有者の調査を実施して、意向調査を行い、集積計画策定に取り組む。



経営管理意向調査委託料

3,553千円

佐藤 文昭 議員

小中学校エアコン設置

先生が汗だくで授業する様子を見たとき聞いてくれるだけでもありがたいと言った先生の声が忘れられない。



学校施設整備事業

160,060千円

佐々木 春男 議員

移住リエゾンの配置

新規事業で、地域おこし協力隊として、情報発信・移住イベント等の企画・運営などの活動に期待する。



地方創生費

3,800千円

佐々木 正勝 議員

商工振興に支援を

商工振興予算が少ない。地域活性化のためにも地元企業、企業誘致を含めた商工振興予算の拡充が必要。



魅力ある企業づくり

21,571千円

佐藤 治一 議員

ふるさと納税倍増へ

前年実績3億超えでした。2年度はさらに倍増目指して市のアピール又返礼品について考えましょう。



寄付金（ふるさと納税）

200,000千円

宮崎 信一 議員

屋内運動施設整備事業

金浦に建設中の新しい屋内運動施設によって市民の皆様に健康で豊かな生活がもたらされることを期待します。



屋内運動施設建設工事

924,000千円

佐藤 直哉 議員

若者に期待する！

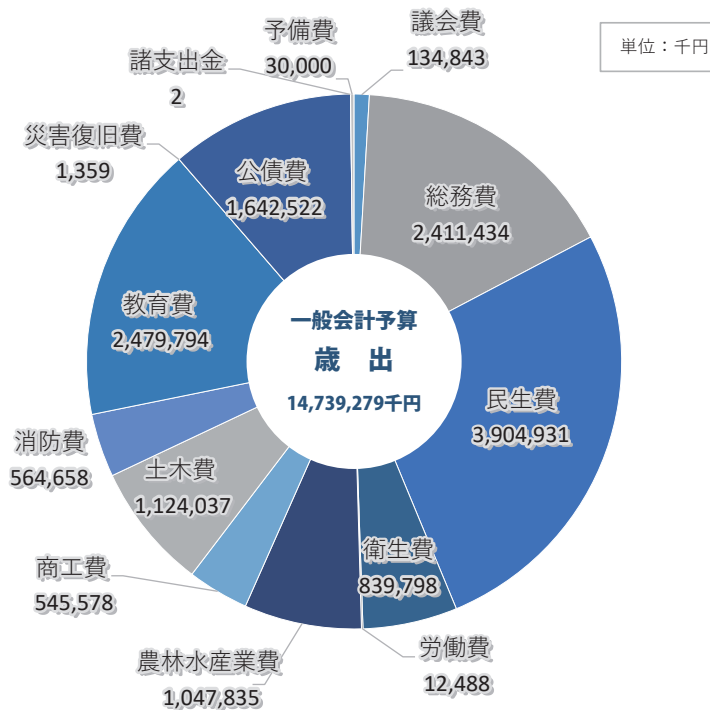
今年度は20～40代の若者30名程度を目安に自らイベントや地域活性化のための事業を計画・立案してもらう。



若者100人会議

1,524千円

渋谷 正敏 議員



国民健康保険事業特別会計事業勘定	2,637,514千円	
国民健康保険事業特別会計施設勘定	73,162千円	
後期高齢者医療特別会計	329,304千円	
公共下水道事業特別会計	1,276,491千円	
農業集落排水事業特別会計	436,764千円	
ガス事業清算特別会計	2,021,746千円	
水道事業会計	収益的収入	618,457千円
	収益的支出	642,484千円



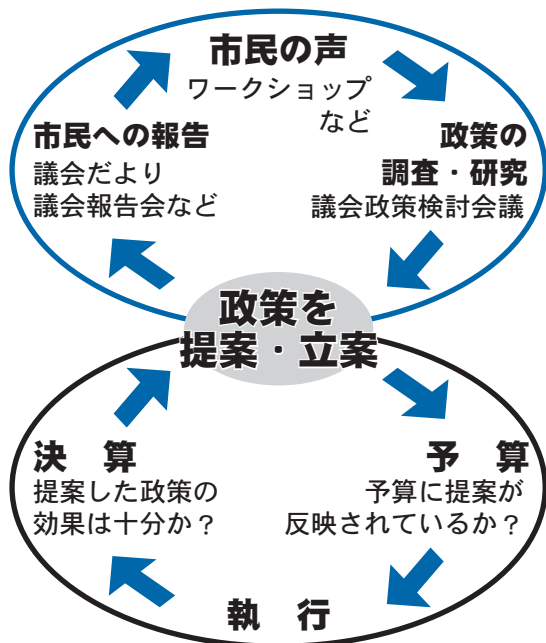
佐藤議長から市川市長へ提案書を手渡した

にかほ市議会の挑戦 〜議会からの政策形成〜

にかほ市議会では、平成30年度から取り組んできた「市民から議会を経て提案する政策形成」の仕組みの中で、3月30日に市長へ政策提案を行いました。（下記参照）

これからも議会の大きな権限である、にかほ市の意思決定やにかほ市行政の監視に加え、市民の声を活かした政策を研究・提案します。

にかほ市議会のサイクル



提案書の要旨

1. 移住・定住施策について～情報発信の改善

移住・定住施策の推進には、外部への発信が最も重要である。利用者が一目で自分の希望する情報を目に出来るようにホームページをリニューアルする必要がある。

先行・先進自治体も参考とし、とにかく目に留まるよう視覚的に興味を待たせること、イメージ戦略の観点からアクセス数の目標を設定すること、予算的な制約・制限をいったんクリアして検討することなど、にかほ市イメージアップのため、さらなる検討を加えていただきたい。他の施策とのパッケージで、にかほの魅力アップに努めていただきたい。

2. 仁賀保高校との永続的連携について

①にかほ市と仁賀保高校との連携協定に基づき、市と学校、各種団体との交流、共催事業を活性化し地域になくはならない学校像を構築する。

②将来に向けて同校の位置付けを明確にし、減少生徒数を確保する施策を打ち出す。

③学校魅力化プロジェクト構想・計画を立案、推進できるようアクションを起こす。

④魅力化プロジェクトが加速するようスクールコーディネーターを配置する。同校と小・中学校のプログラミング教育、交流・連携等を推進する。

⑤通学利便のためコミュニティバス活用を図る。

⑥他地域・他県からの留学生の受入れ、教育環境を誘因とした移住・定住策を導入する。

⑦情報メディア科を「メディア観光科（仮称）」へ発展させる。

3. 図書館機能付き文化施設について

①図書館に限らず複数機能を有する施設でもよい。

②将来の人口や財政を考慮した施設・事業が望ましい。

③建設後の運営体制も基本計画と同時に検討する。

④市内の関係団体の意見や要望を広く収集する。

⑤市全体の公共施設の統廃合・整理を公共施設等総合管理計画に沿って着実に進めること。

4. 観光振興に関する現状・課題及び課題解決のための提案

観光資源の歴史や史跡・遺跡などにストーリー性を持たせた観光案内、展示も効果的と思われる。蛸満寺周囲に「潟」を復元し往時を偲ばせる観光スポットとしての整備など、新たなスポット・ルート の環境整備も一つになりうる。

観光スポットの周遊コミュニティバスのほか、近隣市町との広域的観光ルートなど広域観光事業の推進も不可欠である。

案内看板の見直しや設置個所の再検討、観光情報提供・発信拠点の見直し、充実強化が必要。

市民総観光案内人に向け、パンフ全戸配布、市民講座など機会を設け、市民が「もてなしの心」で接することは高感度アップにつながる。

廃校の利活用は他自治体の活用事例も多い。地域のシンボル、コミュニティの場であることから、地域の活性化にもつながる活用を期待する。

令和元年度議会報告会（一般向け）

ワークショップ式の議会報告会は3回目。昨年に続いて江藤俊昭氏（山梨学院大学教授）の指導のもと、会場は熱気と活気にあふれた。



～あなたの声をにかほの
みらい
明日につなげよう～

令和元年度 にかほ市議会報告会 （一般向け）概要

参加者
市民 34名 議員 17名 計 51名
会場 金浦公民館
期日 令和2年1月21日(火)
時間 午後6時～8時30分

市民34人の声！



ワークショップ

進行・指導 江藤俊昭氏
（山梨学院大学教授）

テーマ

A 中心街の活性化

B 中山間地域の活性化

「どこに問題があるのか？」
「原因は何か？」
「どうすれば解決するか？」
「にかほをよくする提言！」



街なかに親切な案内看板がほしい
コミバスの経路、時間を改良して！
九十九島に水を張る！
空き家を活用して
チャレンジ店舗はどう？
葉草栽培やマムシ養殖できない？

声

学生の勉強場所ほしい！カフェも！
ふるさと納税の返礼品に
にかほまでの旅費はどう？
商店街に行政拠点を設置できない？
コミバスは商店街を走らせれば？
中山間地域の
子どもの生活費をタダに！
移住してこないか？

声



起業者を誘致する！
農業・漁業体験から田舎暮らしへ！
耕作放棄地、空き家を開放！
農業体験やシェアハウスに
フラワーロード、サイクリングロード

声

令和元年度政務活動費交付金の執行状況

(R 2. 3. 31見込み)

会派名	収入	支出				合計
	交付金	調査研究費	研修費	広報費	資料購入費	
響	840,000	502,141	251,660	177,606	17,400	948,807
創明会	360,000	152,018	195,068	0	8,700	355,786
爽風	360,000	155,790	0	75,615	2,900	234,305
市民クラブ	360,000	11,103	222,364	0	12,800	246,267
日本共産党	120,000	0	0	112,227	0	112,227
公明党	120,000	50,528	64,878	0	2,900	118,306
合計	2,160,000	871,580	733,970	365,448	44,700	2,015,698

※収支差額の収入超過分は預金利息も合わせて市に返還。
支出超過分は会派が負担。

会派名	議員名
響	佐藤 文昭／伊藤 竹文／森 鉄也 菊地 衛／佐藤 元／齋藤 進 齋藤 聡
創明会	宮崎 信一／小川 正文／佐々木孝二
爽風	齋藤 光春／渋谷 正敏／佐藤 直哉
市民クラブ	佐藤 治一／佐々木正勝／伊東 温子
日本共産党	佐々木春男
公明党	佐々木敏春

議会活動報告

- 1/15、3/3 広報広聴委員会
- 1/21 議会報告会
- 1/31 にかほ市遊佐町議会議員協議会
広域観光部会総会、幹事会
総会、研修会
- 2/3、10 議会改革推進会議
- 2/13、3/6、16、26 議会運営委員会
- 2/13 説明会
- 2/13、20、3/18 全員協議会
- 2/20~3/18 **3月定例会**
- 2/20 正副委員長会議
- 2/26 会派代表者会議

(※掲載した他、市内外の行事多数あり)

6月定例会の予定

上旬に開催される予定ですが、諸般の事情により、5月に前倒しされることがあります。お問い合わせ、ホームページでご確認ください。

傍聴の際は、マスク着用や席の間隔を空けるなどの対応をお願いします。

議会事務局 TEL 43-7511



編集後記

令和2年最初の定例会を終えました。
さて新型コロナウイルスの感染が世界各国に蔓延し、経済に影響を与えています。にかほ市の中小企業、飲食、宿泊等も打撃を受けている状況です。経済支援等も思うようには進んでいないようです。影響は経済に留まらず、学校も休校を余儀なくされました。3月卒業シーズンに自粛が発表、卒業生と先生のみ寂しいものでなかったか。保護者の方々の心中を察します。
この議会だよりがお手元に届く頃には、元気に登校する子供達の姿が見られると思っております。一刻も早い終息を願います。
最後に、議会広報広聴委員会は、引き続き市民の皆様を読みやすい紙面を目指してまいります。ご指導を宜しくお願い申し上げます。
議会広報広聴委員会
委員長 佐々木 孝二